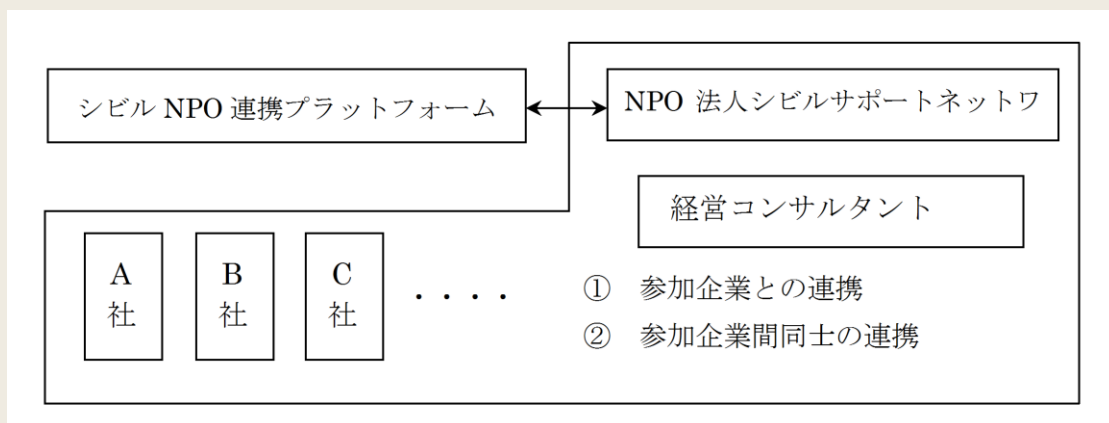


共創プラットフォーム事業化研究会発足

CNCP では建設産業分野では初の NPO をプラットフォームとした建設産業を対象にした新規事業の創設を目指す「共創プラットフォーム事業化研究会」を立ち上げる。ゼネコンや建設コンサルタントの未活用技術や特許などを調査し、技術や人材を NPO ならではの立場で戦略的に事業として生かす方策を研究する。本研究会は従来の産官学体制では発足が難しい研究会であり、サードセクターとしての NPO だからこそ実現したものである。

本研究会は CNCP の法人会員である NPO 法人シビルサポートネットワークを担当責任者として運営し、参加企業各社に経営コンサルタントを加えた共同研究組織となる。CNCP は本研究会活動を促進するために大学や金融機関と情報交換を行い、研究会をサポートする。



研究内容は①技術事業化プロセス・手法を理解するための研究会の開催 ②参加各社での具体的な未利用技術の調査・検討 ③フィジビリティスタディ（事業に向けた各調査結果の取りまとめ） ④事業化計画書の策定（新規事業の企画・提案）の4点。期間は2014年9月～2015年7月（第1フェーズ）、2015年8月～2016年7月（第2フェーズ）の計2ヵ年。月に1回2時間程度の研究会を開催し、技術、情報、研究成果を共有。参加企業には積極的な新規事業の創出を展開してもらう。また、ここで得られた成果は、政府の第三の矢（成長戦略）にも寄与する経済振興策としても役立つ。一企業単位だけでなく、様々な企業を交えることによる相乗効果を主とする新規事業提案が大いに期待される。

平成 26 年 8 月